

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 5 年 11 月 20日

事業所名 こぼんほうすさくら 江戸川台教室

保護者等数(児童数) 34(34) 回収数 32 割合 94 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	6	0	1	子供達が大きくなってきた事によりスペースが手狭になっていないのか、又、休み期間児発のお子さんも一緒に更に人数が増える?時など。毎回楽しいプログラムをありがとうございます。先生方のお陰で楽しく過ごすことができています。庭があるのが良い。	体の大きい子供が多い日は、手狭に感じることもあるので、活動を工夫し、危険がないよう、気を付けたい。児発と放デイは別の部屋で活動をしています。庭での外遊びがある分、走り回る活動もあるため、事故や怪我のリスクも高まります。庭での活動の時間は、特に職員配置を気を付ける等、気を付けていきたいと思いま
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	2	0	4	他の放課後等デイサービスより多くの先生で見ていると思います。	有資格者を配置しています。また、職員のスキルアップを目指し、定期的な研修を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	5	3	7	絵の表示があったりとわかりやすい工夫がされている。	利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。わかりやすい絵をつけた表示や、室内の掲示物等も、工夫していきたいと思ひます。また、利用児の導線を考え、ぶつけやすい場所や、怪我をしやすいものがないか等、日々安全を考えた環境作りをしていきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	29	2	0	1	面談で話を聞いていただき、計画に反映していただいている。	児童発達管理責任者だけの意見とならないよう、職員間でのカンファレンスや、保護者や、利用児とのコミュニケーションを大切にしています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	30	2	0	0	毎月月間のプログラムがわかりやすく子供にも「今日は〇〇だね」と話して送り出している	プログラムは、その季節に合わせた活動を心掛け、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫をしています。イベントや行事等は、曜日に偏りがないよう、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	9	6	8	今のままでいいと思つてます。インフルエンザやコロナが心配なので、他との交流はないほうがいいと思つています。	近隣でもまだコロナやインフルエンザ等の流行が続いている状況ですので、もう少し状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	0	1	0	先生によって今日なにしましたなどと言わない先生もいる。毎回詳しく話して下さるのが楽しみです。	職員によって対応が違うことのないよう、研修等を行い、指導していきます。送迎時はゆっくりお話しすることができないため、必要な事項があれば、児童発達支援管理責任者から連絡をさせていただきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	3	0	0	こまめに相談させていただいています。	送迎時は時間を取つてのご説明ができないため、何か追加でお話する必要がある場合は、職員と連携しつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。また、モニタリング時に限らず、ご要望があれば、都度お電話でのご相談や面談をさせていただいていま
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2	0	0	悩み事があると、電話相談や、面談をしていただいています。	不明点があれば、いつでもお電話をいただき、ご説明させていただきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	9	15	4	あまり機会がないので交流の場を設けて欲しいです。参加したことがない 開催されていない。	コロナ前保護者会を行っており、好評でしたが、コロナ禍でできなくなってしまいました。まだ近隣のコロナやインフルエンザ等の流行状況が落ち着き次第、計画をたいと思つています。全員が集まれる広いスペースはないため、数回に分け行うなど、計画をしたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	2	0	9		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	3	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	0	0	3	毎月写真つきの通信を見るのが楽しみです。子供の様子が分かるのがとても良いです。	「こぼんほうすさくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こぼん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きで紹介しています。今後も、様子がわかるような手紙を発行していきたいと思つています。
	14 個人情報に十分注意しているか	24	3	1	4		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31	1	0	0	手紙で説明をいただいています。	避難訓練の様子も、こぼん通信等でご紹介していきたいと思ひます。また、遠足で防災センターに行ったことでもありますので、また計画したいと思つています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	0	0	0	定期的にプログラムに入っている。	定期的に避難訓練をプログラムに入れていきます。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き続き、指導していきたいと思ひます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	30	2	0	0	毎月作成するカレンダーを自分でもこれだよ！と嬉しそうに見せてくれます。ハサミやのりで細かい作業も上手になってきました。	楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りがないよう、バランスの良いプログラムを組めるよう、気を付けていきます。また、個々の発達に合わせた療育ができるよう、利用児の発達状況を見極め、無理のない有益な療育ができるよう、心がけていきたいと思ひます。
	18 事業所の支援に満足しているか	31	1	0	0	楽しく通わせていただいています。	今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思つています。

455 52 26 42

79%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 11 月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 江戸川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	少し大きめに作っている。	指導を考えた危険のないよう日々点検していく。
	2 職員の配置数は適切である	5	0	基準より多く配置している。ほぼ全員有資格者で運営している。	職員の研修など、スキルアップをめざす。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	可視化表示などを工夫している。	その時の利用児に合わせた環境を整える。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	日々の振り返りで取り組んでいる。定期的なミーティングを実施している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	アンケート後に改善のためにミーティングをし、具体的な対策を考えている。毎年アンケートを行い、保護者からの意見を職員で共有している。	結果を職員と検討、改善を目指す。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	公開している。	本部ホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	外部評価はできていない。	今後の課題として検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	定期的なミーティング、研修を行っている。様々な研修の機会がある。	できるだけ多くの職員が参加できるよう、複数回開催する。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	アセスメントを丁寧に行い、今の現状と照らし合わせて作成している。カンファレンスで他の職員からも聞き取りシートを使っている。	職員間のカンファレンスに参加できない職員の意見も聞けるよう、聞き取りシートを使い、多くの意見を聞けるようにしている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	本部からのものを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎月児発管を中心にチームで意見を出し合いで作成している。管理者、児発管が毎月のプログラムを話し合い決めている。	プログラム内容が有効な療育につながるような活動を計画する。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	毎月のプログラムで変化をつけることや、曜日での偏りがないようにしている。運動や製作など幅広く様々なプログラムを実施している。季節に合わせた活動もしている。	曜日ごとの偏りがなく確認しながら作成する。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	1日の流れで静と動を取り入れ、メリハリのある生活を目指している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	ひとりひとりに合わせた発達段階の支援計画をたてている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	屋礼(朝礼)をしてその日の流れと注意事項の共有をしている。毎日打ち合わせをし、支援内容や子どもの様子等を確認、共有している。	リーダーを中心に活動の流れを確認し、役割の確認をする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援後に振り返りの時間をとり、記録をとっている。毎日、終礼を行っている。	終礼不参加の職員に内容が伝わるように連絡ノートに記録している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	振り返りの記録を全員読むようにして、活かせるようにしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年に1度は必ず見直しを行っている。6カ月経たなくても必要があれば都度計画を見直している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせながら支援を行っている	5	0	その子に合わせて、合う活動を選んで作成している。組み合わせた支援計画を作成している。	支援計画が職員間で共有されるよう朝礼、屋礼時にも確認していく。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児発管、管理者が参加している。	職員に内容共有ができるよう記録を保管、共有をしている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	送迎時間等は保護者からの連絡だが、子どもの情報共有などその都度行っている。保護者を通して連絡をいただいている。	変更があれば各種記録を修正、連絡表で共有し、ミスの無いように気を付ける。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	対象外	対象外	対象外	対象外

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	引継ぎ会に参加をして情報共有をしている。児発管が行っている。	職員に内容共有が出来るよう、記録を保管、共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	児発管が行っている。	職員に内容共有が出来るよう、記録を保管、共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	定期的支援を見てもらい助言をいただいている。児発管が行っている。	専門機関と連携している。研修は機会があれば参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	こぼん内(他教室)での交流のみ。コロナのため他施設とは実施できず。	コロナもあり、現状は難しいが、まずはこぼん教室間の交流から計画していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	定期的に参加している。児発管が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時に子どもの様子を伝えている。別途、気になることがあれば保護者と電話や面談で伝えている。必要な状況であれば児発管からこまめに連絡している。	毎日の送迎時に様子等をお話し、足りないと感じた場合は児発管から再度連絡をする。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	個別に対応している。	コロナが落ち着いたら保護者向けの勉強会を開催したい。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に丁寧に説明をしている。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	電話や面談でいつでも受け付けられるようにし、対応している。児発管が行っている。	電話、面談で都度相談を受けている。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	コロナのため実施できず。コロナ以前は行って好評だった。	コロナが落ち着いたらまた計画したい。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	意見をいただいた時には柔軟な対応、説明をすると共に情報の共有を確認している。苦情があれば担当よりすぐ連絡する。	職員間での情報共有が出来るよう、保護者からの申し出があればすぐ管理者、児発管に連絡がつくように連絡体制を作る。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎日のおたよりで子どもたちの様子や活動を伝えている。こぼんだより、こぼん通信を発行している。	個人情報(写真など)に注意する。ダブルチェックもしていく。
35		個人情報に十分注意している	5	0	情報が漏れないように定期的に確認、職員間での会話にも気を付けるよう伝えている。個人情報は鍵付きの棚に保管している。	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子ども、保護者に合わせて対応するよう心掛けている。個々に合わせた対応をしている。	言葉だけでなく、メモや絵などを使い工夫していく。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	コロナのため実施できず。	コロナが落ち着いたら計画したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	マニュアルを作成し、保管している。職員がいつでも見られるようにしている。手紙で保護者にも災害時の対応について伝えている。	職員入れ替え時に体制が変わるので、都度修正が必要。訓練時にマニュアルのチェックもしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	定期的に避難訓練の実施、年間を通してどの曜日の子も行えるようにしている。プログラムに取り込む。	毎曜日バランスよく入るようプログラムに組み入れる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	年に一度以上は必ず行っている。定期的に研修を行っている。	ミーティング時に研修の時間を取るようスケジュールリングする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	ミーティング、カンファレンスで確認し、保護者にも説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	保護者からの聞き取り、診断書を見せてもらい対応している。アレルギーカードを作りミスを防ぐ工夫をしている。アレルギー食品が含まれていないかダブルチェックをしている。	おやつ準備時、提供時にカードを見ながらダブルチェックをする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	定期的ミーティングで話し合っている。ヒヤリハットを全教室で共有し、支援や環境の改善に取り組んでいる。ヒヤリハットファイルに追加が入ったら職員ノートで連絡する。	職員で共有できるように確認サイン欄を使う。